

# 2019年度 杉並和泉学園 学園経営について

平成31年4月 杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園 学園長 田中 稔

本年度、小学部143名、中学部73名の新入生を迎え、学園の全児童・生徒数が960名となり、杉並区最大の学校となりました。児童・生徒数だけではなく、教職員数も非常勤職、巡回教員等を含め100名を超え、活気に満ちた状況になりました。

本年度は、杉並区初の施設一体型小中一貫教育校として、開園して5年目を迎えることとなります。この機会を一つの節目と考え、開園からの5年間に積み重ねてきた様々な取組等を学園として、しっかりと総括していくとともに、本年度も教職員一同、保護者、地域の方々と共に、小中一貫教育校、コミュニティスクールという本学園のメリットを生かした教育を進めてまいります。

## 【各調査の結果等から読み解く主な経営成果】

- ① 小中一貫教育の取組が定着してきたこと
- ② 特色ある教育（英語教育、日本の伝統文化教育、キャリア教育）等が充実してきていること
- ③ 児童・生徒の安全・安心にかかわる取組が進められていること（PTAとの協力を含む。）
- ④ 道徳教育がしっかり進められていること
- ⑤ ICTを活用した学習が進められていること
- ⑥ 中学部で進学実績が上がってきていること
- ⑦ 施設環境等が毎年、充実してきていること

## 【各調査の結果等から読み解く主な経営課題】

- ① 児童・生徒にとって「楽しく毎日が充実している」と実感できる学園づくりを進めていくこと
- ② 成果を実感できる小中一貫教育を進めること
- ③ 児童・生徒の学力・体力向上を図る取組を一層進めていくこと（特に学力の向上）
- ④ 英語教育の充実・部活動の充実について、保護者等の期待が高く、さらに推し進めていくこと
- ⑤ 保護者等の意見を学園経営に反映していくこと
- ⑥ 「教員の働き方改革」を進めて行くこと

保護者等の意見を踏まえ学校運営協議会（CS会議）でまとめたアクションプラン

## 2019年度 学園経営の重点 小中一貫教育を通して進める10のアクション

— 小中一貫教育を通して「3つのC」のSpirit（精神・魂）をはぐくむ学園 —

### ● Communicate の精神をはぐくむために

- ACT. 1 小・中学部の交流活動を拡充します。
- ACT. 2 9年間を通して伸ばす英語教育を充実させます。
- ACT. 3 地域人材とのかかわりによる教育活動を推進します。
- ACT. 4 特別支援教育を充実させます。
- ACT. 5 心の教育の核となる「特別の教科 道徳」を充実させます。
- ACT. 6 いじめ防止の取組を充実させます。

### ● Challenge の精神をはぐくむために

- ACT. 7 学力や体力の向上に向け、努力する態度を育成します。

### ● Create の精神をはぐくむために

- ACT. 8 自己肯定感を高めるためにキャリア教育を充実させます。
- ACT. 9 オリンピック・パラリンピック教育を推進します。
- ACT. 10 ICTを活用した、学びを深める授業を行います。

